

水素エネ将来性学ぶ

南砺

再生可能エネルギーの普及を目指す北陸グリーンエネルギー研究会（高岡市）は2日、南砺市福光会館で水素社会をテーマにした講演会を開いた。参加者が廃アルミを活用した水素エネルギーに理解を深めた一写真。

富山大学大学院理工学研究部の川口清司教授が、昨秋に策定された「北陸アルミ水素将来ビジョン」を紹介。工場や家庭から出た廃アルミを回収して水素を生み出し、エネルギーを地産地消する構想を説明した。

廃アルミから水素を作り出す小型装置を世界で初めて製品化したアルハイテック（同市）の齋藤康弘取締役管理部長は、紙パックに含まれるアルミ箔から電気を発生させる仕組みを解説した。



紙パック回収協力で
リサイクル品贈呈
北陸エネルギー研究会
北陸グリーンエネルギー
研究会のアルミ付き紙パッ
クリサイクル品贈呈式は2
日、南砺市福光会館で行わ
れ、紙パックの回収に協力
した3団体がトレットペ
ーパーを受け取った。
川口清司理事（富山大学
院教授）があいさつし、南
砺市ボランティア連絡協議
会城端支部、福野ひびきの
会、小矢部市紅梅生活学校
の各代表者に贈呈状を手渡
した。